



ASUPを使用した問題 の解決

OnCommand Insight

NetApp
October 24, 2024

目次

ASUPを使用した問題 の解決	1
ASUPの自動送信を無効にしています	2
Data Warehouseデータベースのバックアップを含む	2
InsightのログをASUPに送信しています	3

ASUPを使用した問題 の解決

ASUPのログをテクニカルサポートに送信して、トラブルシューティングの支援を受けることができます。Data WarehouseのASUPは自動的に実行されるように設定されます。Data Warehouseポータルでは、自動送信プロセスを無効にしたり、Data Warehouseデータベースのバックアップを含めるように指定したり、ASUPへの転送を開始したりできます。

ログの情報は、HTTPSプロトコルを使用してテクニカルサポートに転送されます。ASUPを使用してデータを転送するには、Insight ServerでASUPを最初に設定する必要があります。

Data WarehouseからOnCommand Insight サーバにログが送信されます。このサーバは、Data Warehouseポータルの[Connectors]ページにリストされている最初のコネクタです。自動プロセスでは、次のファイルが送信されます。

- Data Warehouseのログ。次のログが記録されます。
 - boot.log (バックアップを含む)
 - dwh.log (dwh.log.1などのバックアップを含む)
 - dhw_troubleshoot.log
 - dwh_upgrade.log (バックアップを含む)
 - WildFly.log (バックアップを含む)
 - ldap.log (バックアップを含む)
 - Data Warehouse管理データベースのSQLダンプ
 - mysql : my.cnf、.err、およびスロークエリのログ
 - 完全なInnoDBステータス
- Cognosのログ。次のログが記録されます。
 - cognos-logs.zip

にあるCognosログファイルが含まれています <install>\cognos\c10_64\logs ディレクトリ。
また、Cognosで生成されるログ、およびOnCommand Insight Reportingに対するユーザのログインとログアウトがすべて記録されたOnCommand のInsightAP.logファイルも含まれます。

- DailyBackup.zip

[Public Folders]にあるレポートアーティファクトのバックアップが含まれています。[マイフォルダ]の内容はこれには含まれません。

- Cognos *versionsite* name_content_store.zip

Cognos Content Storeのフルバックアップが格納されています。

トラブルシューティングレポートは手動で生成できます。トラブルシューティングレポートの.zipファイルには、Data Warehouseに関する次の情報が含まれています。

- boot.log (バックアップを含む)

- dwh.log (dwh.log.1などのバックアップを含む)
- dwh_upgrade.log (バックアップを含む)
- wildfly.log (バックアップを含む)
- ldap.log (バックアップを含む)
- c : \Program Files\SANscreen\wildfly\standalone\log\dwh\内のダンプファイル
- Data Warehouse管理データベースのSQLダンプ
- mysql : my.cnf、.err、およびスロークエリのログ
- 完全なInnoDBステータス



OnCommand Insight データベースのバックアップは、ASUPからテクニカルサポートに自動的に送信されません。

ASUPの自動送信を無効にしています

すべてのネットアップ製品には、環境で発生した問題のトラブルシューティングに最大限のサポートを提供する自動化された機能が搭載されています。ASUPは、事前に定義された特定の情報をカスタマーサポートに定期的に送信します。Data WarehouseではデフォルトでASUPが有効になっていますが、情報の送信が不要になった場合は無効にすることができます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、*トラブルシューティング*をクリックします。
2. ASUPから日次レポートが送信されないようにするには、[無効化]*をクリックします。

ASUPが無効になったことを示すメッセージが表示されます。

Data Warehouseデータベースのバックアップを含む

デフォルトでは、トラブルシューティングのサポートを受けるためにASUPからテクニカルサポートに送信されるのはData Warehouseのログファイルだけですが、Data Warehouseデータベースのバックアップを含めるように指定して、送信するデータのタイプを選択することもできます。

手順

1. Data Warehouseポータルにログインします <https://hostname/dwh>、ここで hostname は、OnCommand Insight Data Warehouseがインストールされているシステムの名前です。
2. 左側のナビゲーションペインで、*トラブルシューティング*をクリックします。
3. ASUPにData Warehouseデータベースのバックアップを含めるように指定するには、*[Include DWH Database Backup]*リストをクリックし、バックアップに含めるデータのタイプとして次のいずれかのオプションを選択します。

- すべて（パフォーマンスを含む）
- パフォーマンスを除くすべて
- 在庫のみ

4. [更新（ Update ）] をクリックします。

InsightのログをASUPに送信しています

ASUPのログをテクニカルサポートに送信して、トラブルシューティングの支援を受けることができます。Data WarehouseのASUPは自動的に実行されるように設定されます。Data Warehouseポータルでは、自動送信プロセスを無効にしたり、Data Warehouseデータベースのバックアップを含めるように指定したり、ASUPへの転送を開始したりできます。ASUPレポートを要求すると、Data Warehouseポータルの[Jobs] ページにレポート要求がジョブとして表示されます。

このタスクについて

ジョブは、他のジョブの処理と同様に、ジョブキューによって管理されます。保留状態または実行中のASUPジョブがすでにある場合は、ジョブキューに保留中の要求または実行中の要求が含まれているためにASUPレポート要求をジョブ要求に追加できないことを示すエラーメッセージが表示されます。

手順

1. Data Warehouseポータルにログインします <https://hostname/dwh>、ここで hostname は、OnCommand Insight Data Warehouseがインストールされているシステムの名前です。
2. 左側のナビゲーションペインで、*トラブルシューティング*をクリックします。
3. トラブルシューティング*ページの* OnCommand Insight ASUP セクションで、[DWHトラブルシューティングレポートのダウンロード]*をクリックしてトラブルシューティングレポートを取得します。
4. Data Warehouseポータル*の[Connectors]ページで最初のコネクタとしてリストされているOnCommand Insight サーバにレポートを送信するには、*[Send Now]*をクリックします。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。